

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	9 金村 哲夫	<p>1 市民協働のまちづくりについて</p> <p>(1) 提案型協働事業は今年で6年目を迎えておりますが、過去3カ年の応募件数と採用件数を問う。また、今後の課題など市の考え方を問う。</p> <p>(2) 現在建設中のにぎわいの里ののいち「カミーノ」に設置する市民活動センターの活用方法を問う。</p> <p>2 末松廃寺跡の再整備について</p> <p>(1) 今年度の発掘調査において、「瓦塔」発見のほか、どのような発掘成果があったのかを問う。</p> <p>(2) 展示施設等の建設も視野に入れた再整備基本計画の今後の見通しについて、今年度までの発掘成果を踏まえ改めて問う。</p> <p>(3) 再整備の際には「七重の塔」と推測される塔の復元について、どのように考えているのか問う。</p> <p>3 中林土地区画整理事業における遺跡の発掘調査について</p> <p>(1) 中林土地区画整理事業地区内（上林イシガネ遺跡・末松遺跡）における遺跡の発掘調査成果について問う。</p> <p>(2) 遺跡があった場所を示す碑や看板などの設置について問う。</p> <p>4 微小粒子状物質PM2.5対策について</p> <p>(1) 昨年と今年で、本市でPM2.5の濃度が1日平均値70マイクログラム/立方メートルを超えた日の有無と、注意喚起情報の発表の有無を問う。</p> <p>(2) 日常生活の中でできる対策方法及び保育園・小中学校室内において花粉をはじめとするアレル物質や空気中のさまざまな汚染物質を無害な物質へ変性させる装置の設置に係る補助金等について、国・県へ要望する考えを問う。</p>
2	質問 (一問一答)	13 土田 友雄	<p>1 栗町政誕生秘話</p> <p>(1) 栗町政誕生秘話と来期に向けての抱負を聞く。</p> <p>2 提案型協働事業のあり方について</p> <p>(1) 提案型協働事業は元気で活力ある街づくりには重要な施策である。採択事業は一年に限定しないなど、採択要件について柔軟な対応を求める。</p> <p>3 温泉スタンドの利用促進について</p> <p>(1) 野々市の貴重な財産であり資源である温泉スタンドの利用促進を進めよ。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
3	質問 (一問一答)	1 五十川 員申	<p>1 先般発覚した過大徴収再発防止について</p> <p>(1) 2014年の総務省通知を踏まえて、固定資産税の過大徴収発覚までの経緯と過誤徴収となった問題の本質について伺う。</p> <p>(2) 住民税や保育料、国民健康保険料など本市として算定しなければならないものの算定誤りはないか伺う。</p> <p>2 企業誘致と創業支援施策について</p> <p>(1) 議案第63号で東京23区内から本市に本社機能を移転した場合の税制控除などが提案されたが、それに伴って東京の企業に本市の良さを伝え移転を促す必要があると思うが今後の東京での広報施策を伺う。</p> <p>(2) 創業支援施策について、創業者の悩みの一つとして地域での認知というものがある。本市でもi-birdに続きカミーノに設置される商業施設で来春より本格的に創業支援が始まる。それにあたり独自施策として、市の封筒に支援対象の広告を掲載するなど認知アップの為のフォロー施策を用意してはどうか伺う。</p> <p>3 賑わいの定量評価について</p> <p>(1) 本町地区では、北国街道、整備されつつある中央地区整備事業も合わせて、賑わいが一つのテーマとなっている。この施策に対してKPIは設けられているが、本市として現状の賑わいを、どのように定義しているか伺う。</p> <p>(2) 学術的に賑わいの定量評価について研究もされている。しかし、シャッター街や商店街の賑わいについてのものはあるが、本市の旧北国街道のような通りを中心に捉えた場所の賑わいを定量評価する方法はあまりない。賑わいについて一定の評価項目を設ける事で施策全体に一体感が生まれ事業推進や地域との連携、施策に取り組む職員のモチベーションアップにも繋がる。賑わいは、そこに訪れた人、生活している人の肌感覚も重要な一つの指標となる、賑わいについて本市独自の指標を策定し定期的に賑わいに関してアンケートを実施してはどうか伺う。</p>
4	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 専門職を自治体職員に採用してはどうか</p> <p>(1) 明石市では、手話通訳士以外にも、弁護士や社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士などの専門職を職員として複数人採用しています。本市も専門職を複数人採用してはどうか。また、本市の専門職の採用状況と今後の方針について伺います。</p> <p>2 国際交流の現状と今後について</p> <p>(1) 本市の国際交流事業の現状と今後の方針について伺います。また、「日中平和友好条約」締結40周年記念を迎えて、本市では国際友好親善協会内の事業組織としてではなく、独立した日中友好協会の設置を検討してはどうか伺います。</p>
5	質問 (一問一答)	6 西本 政之	<p>1 学校閉庁日実施後の検証について</p> <p>(1) 夏休み期間に設けた7日間の学校閉庁日の効果と課題について伺う。また、課題に対する対応策についても伺いたい。</p> <p>2 平成30年度道路除雪実施計画について</p> <p>(1) 除雪体制の強化ポイントについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部に排雪場を設けることができない理由は何か。 ・除雪機械を登録制にしているが、重複登録とはどういう性質のものか。また、重複して登録している除雪機械は何台あるのか。 <p>3 放課後児童クラブすがはらについて</p> <p>(1) 児童増加に伴い、子供たちの環境が劣悪化していると聞く。早急に改善策を検討せよ。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
6	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>1 子ども医療費助成の対象年齢拡大について</p> <p>(1) 市民アンケートで、208人中92人が高校卒業までの子ども医療費助成の拡大と病院窓口負担の無料化を求めています。18歳までの拡大は前進ですが、窓口負担、自己負担をなくすべきではないか。</p> <p>2 除雪体制について</p> <p>(1) 除雪体制の見直し・強化を評価するものですが、私がおこなっている市民アンケートに、高齢者、あるいは高齢者世帯が多いところ（班）など、多くの市民から大雪の際の生活道路の除雪の徹底を求める声が寄せられている。新たな除雪体制では、生活道路の除雪出動積雪基準を見直すなどしているが、市民の協力を得ることが重要であることは理解するが、人の力、自助・共助にも限界がある。たとえば、町内会の小型除雪機の購入をどうすすめるか。購入にあたって町内会から出されている悩み・課題の解消をはかっていくことも必要であり、臨機応変の対応も必要ではないか。</p> <p>3 小中学校体育館のエアコン設置について</p> <p>(1) 市民アンケートに、女子高校生から、体育館のエアコン設置についてのご意見と、野々市の小中学校の教室にエアコンが設置されていることに感謝の言葉が寄せられている。この声に応える必要がある。9月議会で、猛暑日の体育の授業や全体行事、災害時の避難所に使用される体育館にエアコン設置の必要性と、自治体の負担軽減にもなる有利な国の特例交付金や、7割が交付税算入される緊急防災減災事業債の活用について提案してきた。文部科学省の山崎雅男参事官も「活用できることを周知したい」と国会で答弁している。あらためて緊急防災減災事業債を活用して体育館のエアコン設置をすすめる考えはないか。</p> <p>4 市役所庁舎内に授乳室を設けては</p> <p>(1) 市民アンケートに、30代女性から「野々市市役所には、喫煙室はあるのに授乳室がない事が不満です。金沢市役所には、授乳室があったので、野々市の市役所にもあったらありがたいと思います」との声が寄せられています。確かに言われる通りです。来庁者のための授乳室を設ける考えはありませんか。</p> <p>5 保育士の引き続く処遇改善と、保育士不足の解消について</p> <p>(1) 市民アンケートに、民間の保育園で働く保育士の給与引き上げを求める声が寄せられている。来年度以降もおこなうことになるのか。</p> <p>(2) 市民アンケートに、野々市市の保育士嘱託職員の雇用についてご意見が寄せられている。「保育士が足りず、広報などで募集していますが、まだ足りないと聞き、現場の職員に誰かいないかと声をかけられます。ですが、嘱託で働けるのは、60歳までと野々市市は決まっているようです。年金の年齢も切り上げてもらうようになると予想される今、せめて65歳までの雇用をして頂きたいのです。金沢市は70歳と聞いたこともあります。・・・。」と云うことですが、ご意見に沿って改善が必要ではないか。</p> <p>6 小学生、障害者、高齢者の「のっティ」運賃の無料化と、免許証返納者支援の拡大について</p> <p>(1) 市民アンケートに50代女性からの声が届いています。「80代の親は、持病の為足腰が不自由でカートや杖の助けを借りながら短距離しか歩けない。車の運転は出来るので、病院やスーパーなど数か所に限りの約束をして運転を続けている。免許証を返納すると、バスのチケットがもらえると聞いた。バスに乗ったり、その前後歩いたりできないから車に乗っているの、全く意味がない。タクシーの割引等、他の方法も選べるようにしてもらえないものか」という声です。一考の余地があるのでは。</p> <p>(2) 来年度、小学生ののっティ無料乗車券配布はどうなるのか。この際、年間を通しての無料化に踏み出すことを求める。</p> <p>7 国民健康保険税の負担軽減について</p> <p>(1) 県内でもトップクラスに高い保険税の軽減をはかることは待ったなしとなっている。子どもに課せられている均等割の減額・免除で負担の軽減を。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	7 中村 義彦	<p>1 野々市市における保育士確保の施策及び保育行政の問題点を問う</p> <p>(1) 来年10月に政府が予定している保育料無償化が行われれば保育需要の拡大が予想され、現時点での保育士不足に拍車がかかり、今後待機児童の発生への恐れがあるが、本市の短期的・中長期的な対応の施策は。</p> <p>(2) 発達障がい児に対する加配職員の資格の弾力的運用など市独自の柔軟な保育行政が行われているのか問う。</p> <p>2 野々市市におけるスポーツ行政は</p> <p>(1) 中央公園拡張に伴うスポーツゾーン形成計画について、庁内横断の検討会の設置や民間活用など市長の思いを聞く。観る、語る、観られる、稼げるスポーツへの思いや多目的使用によるランニングコストの軽減、産学官民による建設や運営についての考えは。</p> <p>(2) スポーツ担当課の部局変更の考えは。</p> <p>3 空き家バンク設置の考えは</p> <p>(1) 野々市市における移住希望は今のところ多いと聞いているが、市内でも増えつつある空き家対策として古民家利用の創業支援や、空き家の賃貸、売買促進のため移住希望者や空き家所有者との橋渡しとしての空き家バンクを設置すればどうか。</p> <p>4 来年の野々市市長選挙への思いは</p> <p>(1) 栗市長においては現時点でのマニフェスト達成状況をお尋ねするとともに、来年の統一地方選挙において4期目を目指す考えはあるかを問う。また、4期目を目指すのであれば野々市市の未来像をどのように描いておられるのか伺う。</p>
8	質問 (一問一答)	3 馬場 弘勝	<p>1 歩いて暮らせるまちづくりを目指すことについて</p> <p>(1) 本市は、13.56平方キロメートルの非常にコンパクトな市である。子どもから高齢者まで、自動車に乗らなくてもバスや電車などの利用によって、歩いて暮らせるまちづくりを目指すことについて、どのような考えで、どのような将来像を描いているのか。</p> <p>2 のっティの無料乗り継ぎサービスについて</p> <p>(1) のっティのカレード限定無料乗り継ぎサービスの試行を踏まえ、乗り継ぎ利用者数の大小にかかわらず、試行から本格実施とし、今後も引き続きこのサービスを続けるべきではないか。</p> <p>(2) 来年4月には、にぎわいの里ののいちカミーノがオープンし、のっティを利用した街歩きを含め、賑わいを線と線から面へと広げていく勝負どころの場面がくる。カレードに限定しない無料乗り継ぎサービスを試行すべきではないか。</p> <p>3 のんキーの朝夕時間帯の増便について</p> <p>(1) 通勤通学、野々市駅行き、中央病院行きへの利便性を高めるため、市内を南北軸に移動できるシャトルバスののんキーの運行事業者に働きかけをし、朝夕時間帯の増便について協議していくべきではないか。</p> <p>4 民間バス路線の市街地への延伸、路線変更、新設について</p> <p>(1) 現在運行されているバス路線を本市市街地、南部地域へ延伸あるいは路線変更すること、また、新しい土地区画整理事業地区へのバス路線の新設等について、民間バス事業者に働きかけをし、協議を進めていくべきではないか。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
9	質問 (一問一答)	2 北村 大助	<p>1 市長の政治姿勢と市政を担う決意について</p> <p>(1) 任期満了まで残り約6カ月となりました。市長ご自身からの市政運営実績評価を伺う。また残された課題や道半ばの計画をどのように精査なされ、次に取り組みたい事・取り組まなければいけない事を具体的に合わせてお示しいただき、次期のビジョンとその決意を伺う。 防災・生涯学習・文化・公共交通・市民活動も重要であるがスポーツ政策や産業政策・学校教育政策の位置づけをどのように考えているのか伺う。</p> <p>2 定住促進の具体的な施策について</p> <p>(1) 現在、本市で取り組んでいる定住促進が期待できる具体的な個別施策を伺う。また、具体的な個別定住促進施策と人口増加傾向に因果関係があるのか、所見を伺う。</p> <p>(2) 現在の本市定住促進施策は客観的見地から弱いと感じざるを得ない。本市の定住促進に向けた取り組む本気度を示さなければならないと考えるが、新たに定住促進に繋がる個別施策を検討しているのか。具体的な施策計画を伺う。</p> <p>3 中小企業支援・企業立地支援について</p> <p>(1) 現在、本市をけん引している、いわゆる基幹産業とはどのような産業であると分析し、認識しているのか様々な見地から伺う。また、そのけん引している産業をさらに伸ばそうと考えているのか、所見を伺う。</p> <p>(2) 本年度は、中小企業等支援制度の改正・企業立地の補助金助成金制度・創業支援補助金制度と3本の矢が放たれ、産業振興分野においては画期的なことと受け止めているが、現在の実績や引き合いを伺う。また、一定の効果があれば補正予算を検討なされ、流れを止めるべきでないと考えているが、所見を伺う。</p> <p>(3) 産業施策の中で「特産品」と「認定ブランド商品」の位置づけ及び違いがどのようになっているのかわかりにくい。特産品の定義と総合計画に位置づけている特産品数の目標値について伺う。また、「認定ブランド商品」の制度と市内における関係各課の連携体制等について伺う。</p>
10	質問 (一問一答)	4 安原 透	<p>1 JR野々市駅の、本市の玄関口としての役割、及び今後の在り方とにぎわい創出について、周辺施設の利活用を含めた本市の見解を伺う。</p> <p>(1) JR野々市駅の本市玄関口としての役割、及び今後の在り方について、本市の見解を伺う。</p> <p>(2) JR野々市駅の本市玄関口として、地域的背景や特徴を踏まえた賑わい創出について「交遊舎」「北口プラザ」「北口広場」「連絡通路」「南口」の利活用を踏まえ、本市の見解を伺う。</p> <p>2 地域中心交流拠点施設「にぎわいの里ののいち カミーノ」における「新中央公民館」、「市民活動センター」について伺う。</p> <p>(1) 地域中心交流拠点施設は地域のコミュニティ拠点であり、市民の教養を高める様々なサークル活動等の拠点となる「新中央公民館」がいよいよオープンする。今までにない形の複合施設としての中央公民館が、本市地区公民館を含めた市公民館全体に及ぼすシナジー効果を伺う。</p> <p>(2) 地域中心交流拠点施設「にぎわいの里ののいち カミーノ」における市民活動センター機能と、文化交流拠点施設「学びの杜ののいちカレード」の市民学習機能について、お互いに機能し、相乗効果を期待している。それぞれどのような役割、イメージを考えているのか伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
11	質問 (総括)	5 宮前 一夫	<p>1 住宅用・事業所用の自然エネルギー設備（バイオマス設備）補助制度の導入を。</p> <p>(1) 野々市市においても、地球温暖化対策にむけた取り組みの一環として、市民の意識を高めるためバイオマス設備設置の補助金制度を設け、薪ストーブや木質ペレットストーブの導入推進を図れ。石川の里山づくりに貢献できるのではないか。</p> <p>2 防災の原点でもある、自分と家族そして隣近所の市民との自主防災力の向上へ力点を。</p> <p>(1) 今年度で終わる野々市市総合防災訓練5か年計画であるが、平成31年度以降の見直しの際には、改めて「自助・共助」の重要性の再確認と、各町内会や団体を通じ市民の初期自主防災力の再徹底・強化を図れ。防災士や各町会はもとより、それらをさらに強固にネットワークしていく横の関係性を築くなど、各種団体との連携について伺う。市内の防災士が相互協力・相互訓練できる体制づくりが必要ではないか。</p> <p>3 30豪雪を受けて、除雪体制の見直しはもとより、手法の見直しを。</p> <p>(1) 平成30年の除雪計画策定に加え、今後に備えるためにも、通行止めを適宜行って幹線道路を除雪するなど、雪害に至る前の車道除雪の手法を見直せ。また、融雪装置設置路線の拡充を図れ。融雪装置の設置路線の強化については、各町会・町内会の要望を具現化するような予算措置を講じよ。</p>